

2022年3月28日

2022年夏ダイヤの運航を開始！

～みやこ下地島空港ターミナルにてイベントを実施いたしました～

スカイマークは、2022年3月27日(日)より全23路線において夏ダイヤの運航を開始いたしました。

夏ダイヤの運航開始にあたり、みやこ下地島空港ターミナルで下地島空港活性化協議会と連携し、イベントを開催しました。

イベントでは、当社社長洞駿(ほら はやお)が宮古島市座喜味一幸(ざきみ かずゆき)市長ほか下地島空港活性化協議会のメンバーとともに、羽田から613便で到着されたお客様に記念品を配布しました。また、地元伊良部島の宮古島市立伊良部島小学校(結の橋学園)6年生が駆けつけ、沖縄の伝統芸能であるエイサーを披露、お客様だけでなく地元の皆様にも楽しんでいただきました。

当社社長洞駿はイベントにおいて次のコメントをしております。

「本日より2022年夏ダイヤの運航を開始しました。下地島発着の各路線はさらにご利用しやすいダイヤの設定と乗継時間の短縮で、より気軽に宮古島を楽しんでいただけるようになりました。

また、現在運航しているピカチュウジェット1号機に加えて5月末にはピカチュウジェット2号機が就航し、沖縄路線を中心に下地島空港へも運航するので、多くのお客様にピカチュウジェットを楽しんでいただけます。

今後も、安全を第一に、定時運航に努め、シンプルで温かく誠実なサービスを身近な価格でご提供してまいります。また本日(3月27日)より始まった「羽田発着枠政策コンテスト」に全力で取り組み、長期的に宮古島の観光振興と地方創生に貢献したいと考えております。」



宮古島市立伊良部島小学校(結の橋学園)6年生との記念撮影の様子
(宮古島市座喜味一幸市長(最前方中央左)と当社社長の洞駿(最前方中央右))

【イベントの概要】

日時 : 2022年3月27日(日) 13:45~14:45

場所 : みやこ下地島空港ターミナル 国内線到着口付近

参加者 : <<下地島空港活性化協議会会員>>

沖縄県宮古島市	市長(協議会会長)	座喜味 一幸
沖縄県 文化観光スポーツ部	部長	宮城 嗣吉
宮古島商工会議所	会頭	下地 義治
一般社団法人宮古島観光協会	会長	吉井 良介
下地島エアポートマネジメント株式会社	代表取締役社長	伴野 賢太郎

スカイマーク株式会社 代表取締役社長執行役員 洞 駿

宮古島市立 伊良部島小学校(結の橋学園) 小学6年生 37名

記念品 : ポケモンマスク、ポストカード、ステッカー、アルコール除菌セット、
宮古圏域総合パンフレット、黒糖

■2022年春からの主な変更点

①乗継便の乗継時間を短縮

宮古(下地島)発着路線を中心に、乗継便が使いやすくなりました。

路線	乗継時間	
	~2022年3月26日	2022年3月27日~
宮古(下地島)線		
福岡→宮古(下地島)	最大2時間30分	最大1時間05分
宮古(下地島)→茨城	最大3時間5分	1時間30分
宮古(下地島)→福岡	最大3時間5分	最大1時間45分
宮古(下地島)→名古屋(中部)	3時間	35分
奄美大島線		
奄美大島→羽田	4時間45分	40分
名古屋(中部)→奄美大島	最大2時間	最大45分

②宮古（下地島）発羽田行の到着時刻を変更

宮古(下地島)から羽田への直行便の到着時刻が従来の 21 時 25 分から 19 時 50 分に早まります。

③複数路線で増便！

- ・ 羽田－札幌(新千歳)線を 1 往復増便。1 日 9 往復になります。
- ・ 茨城－神戸線を 1 往復増便。1 日 3 往復になります。
- ・ 名古屋(中部)－札幌(新千歳)線を 1 往復増便。1 日 3 往復となります。
- ・ 神戸－那覇線を春と秋の連休期間及び夏季期間に 1 往復増便。1 日 5 往復になります。

④機内誌をリニューアル！

2022 年 4 月号より機内誌『空の足跡』が新しくなります。特集記事は地域目線の切り口で就航地の文化・歴史・生活を深掘りしてご紹介。スカイマークの機内誌ならではの情報をお届けします。また、就航地の動物園・水族館の旬の話題を紹介する企画が新登場。親子でお楽しみいただけるページが増えました。



以上